

令和8年度 教育事業（指導者養成事業） 青少年教育施設ボランティア養成講座

子どもと関わる！体験ボランティアセミナー

(34 年目)

主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家

後 援 愛媛県教育委員会・大洲市教育委員会・(株)愛媛新聞社

期 日 令和8年6月6日(土)～6月7日(日) 1泊2日

場 所 国立大洲青少年交流の家

対 象 子どもと関わるボランティアや体験活動に興味・関心のある
高校生、大学生、専門学校生、社会人等の青少年（29歳以下）

参加人数 54名（高校生12名、大学生42名）

参加費 3,000円

講 師 市河 勉 氏（松山東雲短期大学 教授）
柴崎 あい 氏（愛媛ボランティア学習研究会 事務局長）
大洲地区広域消防事務組合 大洲消防署員



1 事業の目的

国立大洲青少年交流の家が主催する教育事業や研修支援等の運営協力・指導補助などを担うボランティア人材を育成するとともに、青少年教育及び人材育成の観点から、地域社会へ貢献しようとする人材の育成を図る。

2 日程

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
1日目				受付・開会行事	はじめてのアイスブレイク 子どもたちに必要な体験とは		昼食・休憩	自然体験活動の安全管理	ボランティア活動の意義		休憩	夕べのつどい	野外炊飯におけるKYT 野外炊飯			入浴	就寝準備 就寝
2日目	就寝	起床	朝のつどい 朝食	退所点検	水辺の活動におけるKYT ニュースポーズ ※荒天時プロ		昼食・休憩	青少年教育施設って何？	楽しい！交流の家のボランティア活動	法人ボランティアとは	閉会行事						

(活動の様子)



3 参加者の声

(1) 事業満足度

*満足：90% *やや満足：10% *やや不満：0% *不満：0%

(2) ボランティア等、地域社会への貢献についての意欲

*高まった：92% *少し高まった：8% *変わらない：0% *減少した：0%

(3) 自由記述欄（抜粋）

- とても濃く、密度の高い時間を、思いっきり楽しみながら、学ぶことができた。
- 思っていたより奥が深く、多くの出会いを得たので、このつながりを大切にしたい。
- 初めは一人で心配だったが、そんなこと忘れるくらい楽しくて、よい経験になった。
- 自分を変えたいと、このセミナーに参加した。日常生活の中で体験できないことばかりに出会えた。
- 自分も成長できるし、社会もよりよくなるということに気づいて、「やるっきゃない!」と思った。
- 何よりスタッフさんの生き生きとした姿が特に印象に残った。私も皆さんと一緒にボランティアに参加したい。

4 成果

- 昨年度同様、交流の家から松山駅までの送迎バスを準備したことで、本年度は昨年度を超える 54 名という多くの参加者を受け入れることができた。
- 昨年度までの法人ボランティアに運営スタッフとして参加させることで、参加者は運営スタッフの動きから実際のボランティア活動の様子を想像することができ、また、ボランティア同士の横のつながりを作ることもできたため、高い満足度や、目標であった「地域社会への貢献についての意欲」の向上につながったのではないかと考える。
- 悪天候のため、予定していたカヌーができなかったが、雨天プログラムであるニュースポーツも充実しており、参加者からは一定の評価を得ることができた。

5 課題と改善策

- 事業開始から、1 日目の夕方まで全て外部講師によるカリキュラムで、かつ、休憩等時間にゆとりがなかったため、プログラム構成を工夫する必要がある。
- 当初予定していた倍近い人数に対して、先輩ボランティアによる「楽しい！交流の家でのボランティア活動」のコマは、時間的にも空間的にも余裕がなかったため、ある程度広い場所の確保と、効果的な時間配分の工夫が必要である。

（担当：主任企画指導専門職 有木園 和志）